よりそいサポーターとTハウス

**誰もが安心して集い、気軽に相談できる居場所**

**Ｔハウスとは**

・暮らしの中の「ちょっと教えて」｢困ったな」について話を聞き、いっしょに考えます。寄り添って、分かる人や機関につなげます。

・運営の中心は養成講座を受講した、よりそいサポーターが担います。

・予約や登録は不要、開催中の出入りは自由です。

・定期的に継続して、開催します。

・身近に顔の見える関係を作るために、小さくたくさんつくっていきましょう。

・地域の暮らしを豊かにするために、組合員だけでなくみんなでさまざまなことを考えていきしょう。

**Ｔハウスを始めるには？**

➀よりそいサポーターになりましょう

よりそいサポーター養成講座を受講します。エッコロ会員なら、誰でも受講できます。養成講座開催については、COMEONかもんやホームページで広報します。詳しくは福祉推進部まで。ＴＥＬ 048-424-2763

②仲間を誘いましょう

　Tハウスは複数人での開催を勧めています。ひとりで抱え込まないためにも、定期的に継続していくためにも、周囲の仲間に声をかけ、一緒に開催していきましょう。

③Ｔハウス設置申請をしましょう

よりそいサポーターが「Ｔハウス設置申請書」を支部に提出します。また次年度、継続する場合も「Ｔハウス設置申請書」を２月末までに支部に提出します。

**開催のしかた**

・事前に組合員や地域に向けて、お知らせをします。

・Ｔハウスの広報(チラシ等)は、主催者が用意することが原則です(作成･印刷･紙代)。また、所属支部と確認し、支部機関紙、SNS、生活クラブ埼玉ホームページ等も活用しましょう。

・開催前日までにイベント保険を申請します。

・開催当日、会場に「Ｔハウス開催中」の掲示を行います。

・開催費用（茶菓子代等）は原則として、参加費で賄います。（エッコロ制度からの補助あり）

・子どもも参加者として、託児は参加者どうしで行います。(くらしのサポートでの託児は利用できます)

イベント保険の申請はこちら→

**開催後の流れ**

・開催後60日以内にチラシなどの広報物

と領収書を添付した「Ｔハウス開催報

告書」を支部に提出します。

・イベント保険の事後報告を行います。

・支部が報告書を確認し、共有します。ブロックエッコロ福祉委員会が支部から提出された報告書を審査確認します。

・補助費は報告書提出後、翌月または翌々月に共同購入代金と相殺で支払われます。

**よりそいサポーターとは**

・よりそいサポーターは「福祉の視点を持つ居場所＝Tハウス」をつくる人です。よりそいサポーター養成講座を受講し、交流・相談・ケアの機能を持ったTハウスを仲間と共に運営します。誰でも気軽に立ち寄れる場所をつくり、話を聞き、話したくない人に寄り添い、一緒に考えることが大切な役割です。

・ここで言う相談・ケアは、暮らしの中での「ちょっと教えて」「困ったな」について、話を聞きいっしょに考えることを言います。

・養成講座受講後は支部と協力しながら、居場所作りのキーパーソンとして拠点などで活躍します。**Ｔハウスの補助**Ｔハウスの申請書式等はこちら→

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助の種類 | 補助内容 | 条件・その他 |
| 「Ｔハウス」設置時補助5,000円限度 | ・設置に必要な費用(看板、文具、茶器、コーヒーメーカーなど)・設置申請から6ヶ月程度の間に購入したもの | ・Ｔハウス設置時補助申請書に、領収書を添付して申請します。 |
| 「Ｔハウス」開催時補助3,000円／月 | ・会場費・茶菓子等食品購入費、消耗品費・チラシ代・講師料（1,000円/月＋交通費）・スタッフ交通費・通信費 | ・参加者から徴収する参加費で不足する費用を補助します。・他の補助との重複不可。※図書、備品は対象外です。（参加費での購入は可） |